様式3 表

面談記録票(個人調査票)

学校名	学校	面談実施日	年 月 日
_{ふりがな} 児童生徒氏名		保護者氏名	
出席者	校長·教頭·給食主任·学級担任·養護教諭 〔	ስ・市給食センタ−	−職員·栄養教諭等 〕

アレルゲン				特記事項を番号で記入			.는 네시카#a===	
		デン 家庭での除去程度	診	断根拠	現取時の 症状	希望する 対応	症状確認 時期	
					2正1八	יטיו ניא		
		□ 分量を決めて摂取可 □ 微量調味料・だし・添加物の摂取可 □ 注意喚起表示の食品の摂取可※ □ 揚げ油の共用可 □ 食器・調理器具の共用可 □ 飲食のみ完全除去 □ 接触できない						
		□ 分量を決めて摂取可 □ 微量調味料・だし・添加物の摂取可 □ 注意喚起表示の食品の摂取可※ □ 揚げ油の共用可 □ 食器・調理器具の共用可 □ 飲食のみ完全除去 □ 接触できない						
		特記事項	Į					
診	1	明らかな症状の既往			エピペン®の管理			
断根拠	2	食物経口負荷試験が陽性			学校給食:完全弁当持参			
	3	lgE抗体などの検査試験結果が陽性			:除去食提供対応			
摂取時に表れた症状	1	発赤、じんましんなどの即時型皮ふ症状			:一部弁当持参			
	2	湿疹など遅延型皮膚症状	望 す		:献立表対応			
	3	口腔·粘膜症状	る対		食品を扱う授業・活動			
	4	咳、ぜん鳴など呼吸器症状	応		運動を伴う授業・活動(部活動含む)			
	(5)	腹痛、嘔吐など消化器症状			校外活動(宿泊含む)			
	6	アナフィラキシーショック症状			その他注意事項(必要があれば記入)			
	7	その他(必要があれば詳細を記入)			_		_	

※注意喚起表示の食品とは、加工食品の原材料の欄外表記となっているもののことを指します。

(例)同一工場・製造ライン使用や、原材料の採取方法(漁法や捕食)により含む可能性がある等

様式3 裏

過去の 発症事 例 と症状	年 月(歳)		歳)	原因食品(食後	笑()分	ショック症状	(有・無)
		年 月(歳)	原因食品(食後	後()分	ショック症状	(有・無)
		年 月(歳)	原因食品(]食後	後()分	ショック症状	(有・無)
	発作時の対応手順		手順					
へ 養	治療薬	内服		薬名()	学校に携帯	希望 (する	・しない)
発作時の対応護教諭と要相談)				管理方法·投与方》 薬名(法()	 学校に携帯ネ	とは (ナス	<u>)</u> ・しない)
		吸入		^{架石(} 管理方法·投与方)	·	子(XI~1死'市'4	7 至 (9 る)
		外用		薬名(************************************)	学校に携帯ネ	希望 (する	・しない)
		エピペン®		管理方法·投与方》 薬名(学校に携帯ネ	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ しない)
		エしく、	→	管理方法·投与方法	法()
		有無	Ħ	(有 ・ 無)			
食事と運 関係		有の場 [.] 留意						
. V	学校給食(当番·白衣等)		白衣等)					
学校生活上の	食品を扱う授業・活動		活動					
活上	運動(体育·部活動)		動)					
の	遠足·職場体験等		<u> </u>					
留意点	校外活動(宿泊含む)		(む)					
点	その他の留意・管理事項		理事項					
学坛	詳細な献立表の連絡方法		車絡					
学校給食の			<i>h</i> + \+					
食の対応	献立変更時の連絡方法							
	弁当の保管方法							
	その他							
保護者の要望等								